

令和6年度第4回自立支援協議会テーマ別部会
都市型グループホームの在り方検討について 議事要旨

1. 開催日時 令和6年12月23日(月) 14時～15時30分
2. 開催場所 まちづくり活動プラザ 1階会議室
3. 出席者 (委員) *団体名のみ記載
浦安手をつなぐ親の会、(福) 一路会、(福) 敬心福祉会、(福) 千楽、
(福) 東京都手をつなぐ育成会、
世田谷区基幹相談支援センター (Zoom)
障がい事業課
(事務局) 浦安市基幹相談支援センター
4. 議事次第
 1. 開会
 2. 議題
 - (1) 第3回テーマ別部会の振り返りとリサーチ結果の報告
 - (2) 世田谷区基幹相談支援センターとの意見交換
 - (3) その他
 3. 閉会
5. 配布資料
次第
意見交換事前資料
6. 議事要旨
 - (1) 第3回テーマ別部会の振り返りとリサーチ結果の報告
第3回部会での検討内容についての振り返りを行ったのち、前回会議でリサーチを行うこととなった、浦安市と浦安近隣地域の家賃相場(グループホームの家賃、戸建てやアパートの家賃と購入した場合の費用、土地代など)の比較についての報告があった。
 - ・グループホームを建てた場合、利用者に請求する家賃に土地代を含めることが出来ないとなった。利用者にとっては安い家賃で入居できるという利点があるが、事業所にとっては、初期投資の費用の回収目途が立たず、運営として厳しいという問題がある。
 - ・10人定員のGHを検討する場合は延床面積200平米くらいが必要。重度の方や行動障がいの方の受け入れを検討して建築した市川市のGHの事例を確認すると、延べ床面積280平米でもギリギリということが分かった。
浦安市内で延床面積200㎡～280㎡で検討すると、ほぼ土地はなく、価格も7500万円以上かかることが分かった。200㎡未満の土地でも価格に大きな差はないことも分かった。

(2) 世田谷区基幹相談支援センターとの意見交換

世田谷区基幹相談支援センターより、事前にお送りさせていただいた質問に対して回答。

※当日回答できない項目に関しては、担当課より後日回答をいただく。

- ・ 障害者推進計画における現行のインクルージョンプランは、令和4年度から準備を始め令和5年から提言、令和6年に組み込んだ。グループホームが不足していることは常に課題として挙がっている。地域課題についてアドバイザーの助力を得ながら区の理解を進めている。
- ・ 区が土地を提供し、建物を福祉法人が担い、区からどのような事業を行ってほしいかのオーダーを受けて多機能型施設を運営している例もある。また新設のグループホームが中々できないため、世田谷区では有限会社がシェアハウスを立ち上げ、重度訪問介護を導入しながら暮らしている例もある。
- ・ 待機者リストは把握していないが、特別支援学校の実習生の行き場所や利用希望者の多い事業所は区が利用調整している。

■今後の取り組み

委員からの意見：

- ・ 現在の県の方針では、事業所はグループホーム立ち上げに向けて積極的に動けないのではないか。
- ・ 助成金がある前提でないと進まず、市の方で検討してもらう必要があるのではないか。
- ・ 現状と課題についてまとめ、提言を行い部会終了になると良い。時間が無いが、話し合いをしただけで終わるのではなく、未来につながる計画のようなもの、それが仮の絵図面であっても、何らかの具体的な提言ができれば良い。

■次回以降の部会内容

- ・ 次回の部会にてこれまでの情報をまとめる。
- ・ 今年度最終部会にて今後の目標や目的を明確に示し提言を行う。